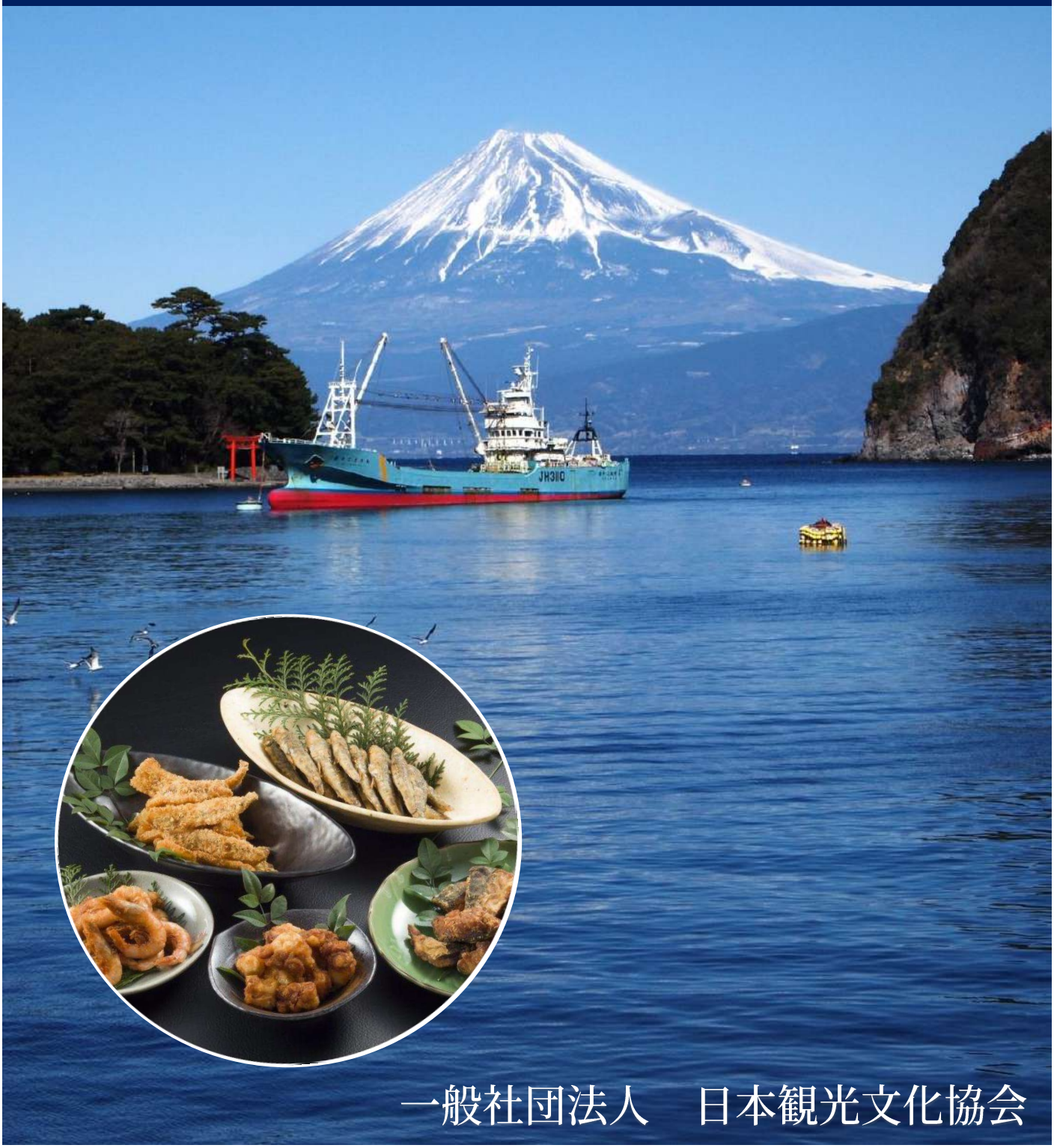
観光エキスパート

2023 2月号



一般社団法人　日本観光文化協会

目次

好評につき申込期間延長！ 来週末 1 月 21 日（土）全国大会 2

同日開催！無料講習会 「観光商品、サービス開発の発想を学ぶ」 4

観光特産大賞 2022 決定！. 5

日本メダカ大賞 2022 決定！. 7

2 月 18 日（土）観光スキルアップ研修 博多ステーションビル取締役

が教える 「特産品と観光」視点での販売促進 9

資格の活用 ～認定ロゴマーク使用について～ 10

認定講師講習会のご案内. 11

まちづくりの現場から. 12

紙の本と学ぶ映像 ＭＭＰコミュニケーション 14

JMC プレミア組合員（個人組合員）募集中！ 15

今号の表紙 ～観光特産大賞～

表紙写真（静岡県 深海魚料理）

深海魚とは、水深約２００ｍより深いところに生息している魚のことで、駿河湾で水揚げされる主な魚として、「メヒカリ」「ゲホウ」、「ノドグロ」、「ゴソ」、「メギス」、「タカアシガニ」などである。戸田では水揚げされたばかりの新鮮な深海魚を食すことができ、刺身、てんぷら、煮付け、フライ、はんぺん、味噌汁などで食べられている。白身がふっくらと柔らかな食感で、地元の人も好んでよく食べている。

好評につき申込期間延長！
来週末 1 月 21 日（土）全国大会

JMC グループ全国大会が、いよいよ来週 1 月 21 日（土）オンラインにて開催される。

〔日時〕2023 年 1 月 21 日（土）13:00～17:00
〔会場〕オンライン配信（インターネットで受講可能）
〔参加費〕会員　2,000 円（税込）／一般　3,000 円（税込）
〔受付締切日〕2023 年 1 月 17 日（火）

〔タイムスケジュール〕
13:00～14:00　コーディネーター表彰・観光特産大賞表彰・地域支部活動紹介

14:05～15:35　**「安定した収入を得て悠々自適に生活」**
～マネジメントマーケティングでスキルアップ～

サラリーマンとしてだけではない働き方が増えるなか、ご自身のスキルを高める方法について伝授！現役世代の方も、若いうちから将来を見据えて考えるきっかけや、今から準備するためのヒントが得られます！
（講師：岡田吉晴　ソニー株式会社でプロモーションプロデューサー人事部研修講師を歴任後退職。1 部上場企業のマーケティングアドバイザーとして数社と契約、中小企業に対しての経営指導など全国各地の商工会議所等で講演会を行っている。）

15：45～16：55**「農商工観光福連携を推進していく」**
～モノづくり、コトづくり、場おこし、そして人づくり～
（講師：北賢治　日本観光文化協会理事長）

2023 年度のＪＭＣグループの目標は「農商工観光福連携を推進していく」、「モノづくり、コトづくり、場おこし、そして人づくり」です。
ＪＭＣグループは多くの異分野の専門家を擁し、全国各地の企業の経営、マーケティング支援、販路開拓、販路コーディネート、商品開発、地域活性化支援に取り組んでいます。

また、ケースごとに最適と思われる産業支援（人材紹介、マッチング、公的支援ツール活用等）を行う形で公的支援事業等を全国規模で展開しています。

特に一般社団法人日本観光文化協会は、地域支援型助成型社団として、全国各地の「コトづくり、モノづくり、場おこし」の振興、およびその交流の促進に寄与するため、支援活動を行っています。その具体策の一つとして、国家戦略・食の 6 次産業化プロデューサー事業（北海道、東北、関東、関西、九州、沖縄を拠点）を我が国で初めて行い、オリジナルの教育プログラムを開発しました。2023 年度は、北海道の NPO 法人フーズ北海道（発信本部）において展開します。

2023 年は、次の基本方針をもって支援活動を展開していきます。

1. 創造活動への地域支援
①「まちづくりの３ステップ」を元に地域ブランド創造のプロセスを総合的にサポート
②新しい「商品・サービス　販売チャネル　プロモーショナルな活動」の探求と、それらのブラッシュアップ支援

2. 長期的視点に立った継続的な支援
①単発ではない、複数年にわたる支援を原則
②支援先との緊密なパートナーシップにもとづいた支援活動を展開

3. 農林畜水産の活動だけではない複合的な支援
①観光と福祉に関連する創造や学び合いのための「場」を提供
②企業・団体の事業承継の課題や組織運営など活動や運営に関する相談に応じる

「農商工観光福連携を推進していく」ため、今後ますます重要な役割をともに担う、観光コーディネーター、商品開発コーディネーター、販路コーディネータ、セールスレップ、プロモーションコーディネーター、MM コーディネーター等の資格を持つ会員の方々に向け、上記のような基本方針とともに具体的な事例を交えて、これまでの取り組みとこれからの展開について、すべてお伝えします。

〔参加費〕会員　2,000 円（税込）／一般　3,000 円（税込）

〔受付締切日〕2023 年 1 月 17 日（火）

〔詳細・申込〕http://www.jtcc.jp/event/jmc_zenkoku_2023.html

同日開催！無料講習会
「観光商品、サービス開発の発想を学ぶ」

セールスレップ・販路コーディネータ協同組合では、東京都中小企業団体中央会と連携し、下記の内容で講習会を開催する。

【日時】2022 年 1 月 21 日（土）10:00-12:00
【受講料】無料
【会場】オンライン配信
【講師】畑山博康
【主催】セールスレップ・販路コーディネータ協同組合

観光商品、サービス開発の発想を学ぶ
～地域内の連携によるネットを活用したプロモーション戦略構築の方法～

近年は観光における消費行動がモノ消費からコト消費へと軸足が移り、観光へのニーズの多様化も進みつつある。一方で、ウィズ・コロナへの対応や新しい技術の活用、そして働き方の変化や新しいライフスタイルへの対応など、観光のプロモーションを進めるためには、めまぐるしくかつ大きな時代の変化に対応していくことが必要になっている。

本講義では、観光を取り巻くこのような環境において、マネジメントマーケティングの基本的な考え方を学ぶともに、従来発想からもう一歩踏み込んだ新しいプロモーション戦略の構築方法や持続可能な観光への具体的な取り組みなどをお伝えする。

ニーズや時代の変化に対応した新たな取り組みについて考えるとともに、観光をめぐる最新の動向や具体的な取り組み事例などを紹介しながら、今後の観光プロモーションの方向性について学んでいく。

※受講希望者多数の場合、抽選となりますのでご了承ください。当選された方には、ズームリンクをご連絡いたします。

〔詳細・お申込〕http://www.hanro.jp/event/chuou.html

観光特産大賞 2022 決定！

『2022 日本観光特産大賞』は、観光特産大賞「グランプリ」を「静岡県　深海魚料理」に、金賞「優秀賞」を「福岡県　うきはテロワール」、金賞「ニューウェーブ賞」を「新潟県　燕三条金物」に決定した。「静岡県　深海魚料理」は、地域とそのくらしを支えてきた戸田港を拠点にした深海魚漁、未利用資源としての将来性、そして「沼津港深海水族館」を中心とした話題性が評価された。審査員の一人、経済産業省認可セールスレップ･販路コーディネータ協同組合副理事長の笠谷圭児氏は、「温暖化の影響が進み、水産資源がこの先の安定的な食料資源の位置を守っていくためにも、深海魚の有効活用は大きな課題となる。最近では、深海魚を探索する話題の番組も放映されている背景も含め、深海資源の観光特産化は大きな波が来る予感がする。」と評した。1 月 21 日（土）全国大会にて表彰式が行われる。
〔詳細〕https://jtmm.jp/award/

日本観光特産大賞「グランプリ」　静岡県　深海魚料理

◆受賞団体　静岡県沼津市
◆商品特性　深海魚とは、水深約２００ｍより深いところに生息している魚のことで、駿河湾で水揚げされる主な魚として、「メヒカリ」「ゲホウ」、「ノドグロ」、「ゴソ」、「メギス」、「タカアシガニ」などである。戸田では水揚げされたばかりの新鮮な深海魚を食すことができ、刺身、てんぷら、煮付け、フライ、はんぺん、味噌汁などで食べられている。白身がふっくらと柔らかな食感で、地元の人も好んでよく食べている。戸田地区には駿河湾深海生物館があり、深海魚や深海の甲殻類の標本が展示されている。また千本港町には約 200 種、3,000 体の深海生物が展示されている「沼津港深海水族館」がある。

◆推薦のことば：「駿河湾ならではの恵みを活かすことができるモノである。観光の視点からもこの地域は風光明媚、温暖、温泉など魅力がある。深海水族館などの深海魚を知る施設も完備している。また、それを食することができる。」槙利絵子（観光特産士マイスター・観光コーディネーター）

金賞「優秀賞」　「福岡県　うきはテロワール」

◆受賞団体　福岡県うきは市

◆商品特性　うきは市は、フランスのワイン産地ボルドーやアルザスとよく似た日本でも非常にめずらしい地質・地形を有していることもあり、うきは市の農業をとりまく環境を「うきはテロワール」と名付けた。令和元年の年間観光入込客数は 240 万人、筑後平野を一望できる大野原台地に位置し、「くど造り民家」をモチーフにした外観が特徴の道の駅「うきは」は旅行情報誌の九州・山口の道の駅人気ランキングで 6 年連続総合 1 位。柿、梨、ぶどう、いちご、ももなどの生産が盛んである。(※テロワールとは、生育地の地理、地勢、気候の特徴をさすフランスで生まれた言葉)

◆推薦のことば:「『テロワール』というネーミングが都会層にも受けやすくブランディングに積極的である。ホームページもコンセプトが明確で伝わりやすい構成である。特産品と地域資源（歴史・地勢・文化）を融合させて地域全体の魅力を訴求している。」黒田幸代（マネジメントマーケティング・コーディネーター）

金賞「ニューウェーブ賞」　「新潟県　燕三条金物」

◆受賞団体　（公財）燕三条地場産振興センター

◆商品特性　江戸時代から現在まで金属加工の街として発展し、隣市と合わせ「燕三条」の名前で全国的に広く知られているが、最近では燕市全域及び三条周辺地域にて、金属加工、鍛冶木工、印刷、農業をはじめとするものづくりの現場を見学・体験できるイベント「燕三条 工場の祭典」を開催。普段は閉ざされているものづくりの現場＝KOUBA を一斉に開放し、見学・体験の機会を設けている。

◆推薦のことば:「燕三条は金属加工で世界トップクラスの技術を誇る地域である。ステンレス製の刃物や銅細工もあり、磨きの技術で世界を席巻している。また同市では、“工場の祭典”を 10 年前から毎年開催しており、お客様がものづくりの現場＝KOUBA を見学・体験できるスタイルのイベントを行っている。」舘和彦（愛知学泉大学教授）

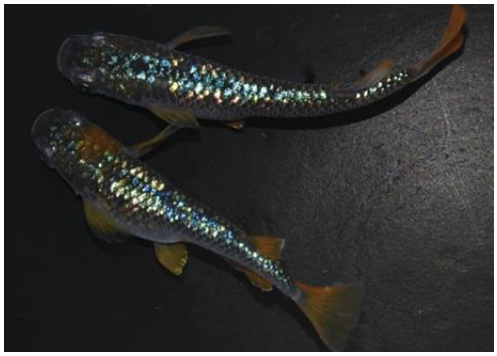
日本メダカ大賞 2022 決定！

日本メダカ大賞 2022 を発表、金賞「グランプリ」を「竜章鳳姿」に、金賞を「令和黒ラメサファイア系」に決定した。日本メダカ大賞とは、この 1 年の間に話題になった鑑賞メダカのなかで、次の審査基準に基づき選ばれたメダカを毎年表彰するもの。毎年 11 月中旬にノミネートを発表、メダカファンの投票によって年間大賞が選ばれる。日本メダカ大賞委員会は、「日本メダカの会」、及びメダカの観光資源プロジェクトを推進する「全国観光特産士会」で運営を行っている。

■金賞「グランプリ」：竜章鳳姿（りゅうしょうほうし）

昨年に引き続き、今年のグランプリは「メダカの名産地」となっている岡山県で、『星田めだか』作出の竜章鳳姿（りゅうしょうほうし）となった。この品種は、もとは妹尾和明氏の作られた“乙姫”の松井ヒレ長化された系統である。ハウスネームの“竜章鳳姿（りゅうしょうほうし）”とは、立派で威厳のある容姿のことをいう意味を持ち、竜のように勇ましく、鳳凰のように気品がある立派な姿ということが言葉の由来になっているといわれている。

■金賞：令和黒ラメサファイア系



特性　2022 年春、岡山県の『静楽庵』から満を持してリリースされたのが“令和黒ラメ幹之サファイア系”である。今までの三色ラメ幹之は、非透明鱗性のためヒレに色を乗せることは難しかったといわれ、その遺伝子を『静楽庵』が発見、命名したのが“令和遺伝子”といわれる。各ヒレに朱色が入り、ラメの乗りも増えた。さらに、透明鱗性のメダカのような体の色抜けをすることもわかり成長具合によって透け具合や色味が変わることも楽しんでもらえるメダカとなっている。ラメ幹之の下地に“サファイア”の大きな青いラメが複雑に入り、各ヒレが朱に染まる姿は見応えがある。（引用協力：（株）ピーシーズ）

◆審査の方法：ノミネート一覧とその他の候補メダカに対して、ホームページ上から一般応募を受付、日本メダカ大賞委員会にて集計。投票期間は 2022 年 11 月 8 日（火）～2022 年 12 月 7 日（水）。

日本メダカ大賞評価基準
１.「独創性」: 群を抜いて差別化が図られている
２.「優秀性」: 創作技術に優れている
３.「市場性」: 市場に受け入れられ、愛される

～日本メダカの会本部事務局からのコメント～

日本メダカ大賞は、観賞メダカを地域資源、観光資源としてのメダカを支援するために創設された賞です。
現在、犬、猫に続く、飼育ペット第３位の「観賞メダカ」の世界が、地域の活性化の取り組みの中で、今後も末永く愛されるように、活動しています。
日本メダカの会は、今後メダカと福祉事業を結ぶ活動を積極的に取り組んでまいります。

今年のグランプリのメダカ「竜章鳳姿」が広く知られるようになったのは 2020 年のことです。新たなメダカが次々と誕生するなか、数年間人気が継続しているメダカが評価されたことは、健全な市場浸透が図られているということであり、愛好家にとっても、メダカ屋さんにとっても、とても良いことだと考えています。今後とも、ぜひ、応援のほど、よろしくお願いいたします。

◆今年ノミネートされた 10 種：竜章鳳姿（りゅうしょうほうし）／墨武（ぼぶ）／朱光菊（しゅこうぎく）／ユリシス／サボテン／５式タイプ R（ごしきたいぷあーる）／ラメ王／レッドクリフ／ブラックダイアリアルロングフィン／令和黒ラメ幹之サファイア系／他品種

2 月 18 日（土）観光スキルアップ研修 博多ステーションビル取締役が教える 「特産品と観光」視点での販売促進

JMC グループでは、資格取得後の活動支援を図るため、スキルアップ研修を実施している。頭でわかっていても実際にどう取り組んだら良いかわからない…実際に活躍している講師が事例をご紹介。資格取得後の知識の使い方、旬な話題も含めて伝えていく。 有資格者はもちろん、これから受験・受講される方、資格や業界のことをもっと知りたい方など、どなたでも受講可能である。

〔日時〕2023 年 2 月 18 日（土）16:00～17：30
〔会場〕オンライン配信
〔参加費〕協会会員　税込 3,300 円／一般　税込 5,500 円
　　正規組合員・JMC プレミアム組合員は無料

「特産品と観光」視点での販売促進

～博多駅ナカ「マイング」の事例

博多駅ナカに立地する九州を代表するお土産処の商業施設「マイング」の販売促進戦略及び戦術事例を通して、「特産品と観光」施策を具体的に解説。

・観光視点で、特産品をどうブランド化するのか？
・競合他社とどう差別化し存在感を出すのか？
・特産品の観光活性へ向け、ターゲット戦略は？
・誰に何をいつどのように伝え、どう興味を持たせ、手に取って買ってもらうか？さらにはリピートしてもらうか？
・顧客とのツーウエイコミュニケーション施策は？

〔講師〕吉留景子
（株）博多ステーションビル　取締役　事業推進部門長
〔詳細・お申込〕
http://www.jtcc.jp/event/kanko_cu.html

資格の活用
～認定ロゴマーク使用について～

合格者は、その証明のための認定マークが使えるようになる。認定マークおよび登録資格のご利用にあたっては、フォームにて申請いただき、ご利用案内をご確認の上、名刺への記載などご活用いただきたい。
※「観光特産士®」の名称は、国（特許庁）への届出による商標登録を受けている。

認定ロゴマークの使用について
http://www.jtcc.jp/kankoshi/logo.html
https://jtmm.jp/logo-3/

資格	登録資格の表記	認定マーク
観光プランナー	JTCC認定　観光プランナー	JTCC
観光士	JTCC認定 観光士	
観光コーディネーター	JTCC認定 観光コーディネーター	

資格	登録資格の表記	認定マーク
観光特産士®〇級	日本観光文化協会認定　観光特産士®〇級	Master of Tourism and Specialties
観光特産士®ロゴ	日本観光文化協会 観光特産士®〇級	観光特産士

また、「観光特産士マイスター」合格者は以下ホームページにお名前の掲載が可能。
資格を武器に、会員の活躍が期待される。

https://jtmm.jp/%e8%a6%b3%e5%85%89%e7%89%b9%e7%94%a3%e5%a3%ab%e3%83%9e%e3%82%a4%e3%82%b9%e3%82%bf%e3%83%bc/

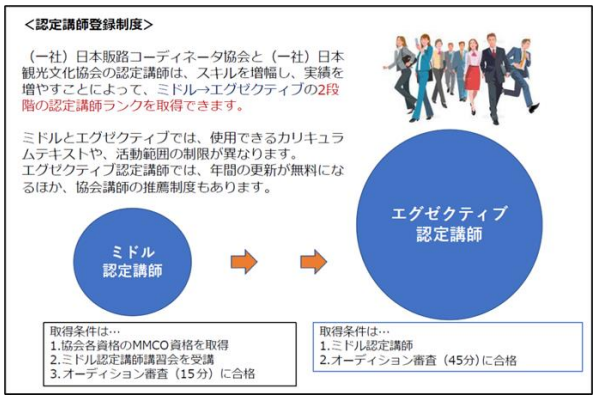
認定講師講習会のご案内

来年の認定講師講習会は、新規・更新（ミドル・エグゼクティブ）どちらも同日に講習会を以の日程で開催予定。

〔日時〕2023 年 3 月 5 日（土）13:00～15:00　ミドル・エグゼクティブ認定講師講習会

〔会場〕オンライン配信

〔内容〕2023 年度版『オンライン対応の講師テクニック』



◆更新の方

（1）更新のご案内（2 月中）。

（2）受付フォームより申し込み／認定講師講習会の受講

（3）更新の認定講師認定証を発行。

※ミドル認定講師の方は登録料（税込 5,500 円／年）をお支払いください。事務局で入金を確認後、講習会資料を送付。

◆新規登録の流れ（ミドル）

（1）受付フォームより申し込み／認定講師講習会の受講

（2）オーディションビデオ（15 分）とパワーポイント（5 枚）を提出

※資格に応じたミニセミナーで、パワーポイント 5 枚を準備し 15 分でまとめてください。提出締切：2023 年 3 月 19 日（日）⇒2023 年 3 月 31 日（金）：審査結果のご連絡

（3）合格通知後、登録書類提出（HP に認定講師として顔写真・プロフィール等の掲載が可能）〔研修受講料、資料および審査料〕33,000 円（税込）

◆新規登録の流れ（エグゼクティブ）

（1）受付フォームより申し込み／認定講師講習会の受講

（2）zoom にてオーディション（45 分）　実施日：2023 年 3 月 26 日（日）

（3）合格通知後、登録書類提出（HP に認定講師として顔写真・プロフィール等の掲載が可能）〔研修受講料、資料および審査料〕55,000 円（税込）

※エグゼクティブ認定講師は登録翌年から認定講師更新料が無料。

2023 年 3 月 31 日（金）：審査結果のご連絡

〔詳細・お申込〕http://www.jtcc.jp/kanko_coordinator/kanko_ryokou.html

まちづくりの現場から

「観光×福祉」熱い想いと行動力

観光コーディネーター　森山育子

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを 2 年後の控えた 2018 年 4 月、私は墨田区観光協会の理事長兼事務局長に着任した。さまざまな課題がある中で、1 番のミッションは東京オリンピック・パラリンピック後もレガシーとなるような観光地づくりと観光地経営を行うこと。当時、当協会には既に多くの観光コンテンツがあったものの、インバウンド増加に伴い、インバウンドへの情報発信力の弱さ、地域住民との摩擦という課題があった。更に当協会の活動に対する地域住民の認知が低いという問題があった。

さまざまな課題の中で、「持続可能な観光地づくり」とはどういうことかを考えた。そして墨田区の日常の中に根付く様々な素材の掘り起こしと、それらをどのように観光と融合させていくか。私は「観光×〇〇」、〇〇には文化、歴史、産業などのほか教育、福祉、防災、町会、まちづくりなど街を構成するあらゆるものが対象となると考えた。その中でも、墨田区が生んだ北斎と、観光からは一見遠いと思われる「福祉」に注目した。

「みんな北斎プロジェクト フェーズⅢ」は墨田区の主催事業を墨田区内のクリエーターグループである「すみだクリエーターズクラブ（以下、クリクラ）」が引き継ぎ、一般社団法人墨田区観光協会とともに共同事業として再スタートした取り組みだ。そのフェーズⅢの目的は、障がい者の活躍の機会の創出と、墨田区の文化である葛飾北斎（以下、北斎）を墨田区内外に広めていくことであった。北斎のふるさとである墨田区らしい「観光×福祉」のプロジェクトを展開しながら多様性ある地域社会の創造を目指していく活動としてスタートさせた。公共喫煙所アートウォール「みんな北斎 浮世絵巻」はみんなが違いを認め合う社会を目指して制作した透明な壁である。福祉施設の利用者、しりあがり寿氏、墨田区が生んだ葛飾北斎の絵を地元クリエーターがコラージュした。

発端は 2021 年 3 月、日本たばこ産業株式会社（以下、JT）より、錦糸町駅北口への喫煙所設置と観光客の多い両国駅西口喫煙所の改修工事を行うにあたり、外壁に墨田区の

街中にあう江戸文化を表現するアートを描きたいと、墨田区観光協会に相談があった。墨田区は 2021 年「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に選定されたこともあり、私たちのプロジェクトに SDGs の観点が含まれていることが、全面的に JT 様にご協力いただけた理由だと考える。具体的には、「目標 10：人と国の不平等をなくそう」として、福祉作業所の皆さんの作品を地域の方々に見ていただくことで多様な価値観を感じていただくことができた。そして「目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう」として、JT 様、福祉作業所の皆さん、クリエーター、墨田区様、すみだ北斎美術館様など地域の様々な方が協働した取り組み自体が意義のあることだと考える。アートの前では、みんな自由、みんな同じ。江戸時代の画家も、現代の漫画家も、障害のある人も、アートは時空を超えて人をつなげる。そんな想いを込めて仕上げた作品となった。

当初、障がい者への支援は継続することが重要と認識しつつも資金的な問題などもあり模索していた。また私の「観光×福祉」が、将来的に観光商品として土産物に発展させていくことに結びつくのか。観光協会とクリエイターが目指すものの違いから、お互いを理解し、ベクトルを合わせることで難航した。しかし、いろんな人たちが繋がって一つのものを作ることの喜びを分かち合える地域こそ、私が創りたいと街だと思った。

「想い」を形にしていくことは一人ではできない。しかし「想い」、「訴え続ける」ことで賛同者が見つかることがあると気付かされた。観光地づくりを行うためには、協力者を巻き込む熱い想いと行動力が必要である。そして熱心に説くだけではいけない、行動しなければ誰もついてこないし、誰からも認知されない。それが正しいか正しくないかは別としても。地域全体が北斎のように時間も空間も超えて地域を繋ぎ、障がい者と健常者の垣根を超えてつながるすみだになってくれることを期待している。それはきっとそこを訪れる人にとっても居心地の良い場所となると信じて、私は観光地づくりをすすめている。

【参考】
みんな北斎プロジェクト
https://www.minnahokusai.com/

墨田区観光協会「みんな北斎プロジェクトにＪＴが参画」
https://visit-sumida.jp/2021/11/22/3300/

森山育子　一般社団法人墨田区観光協会 理事長
保有資格：観光コーディネーター

紙の本と学ぶ映像
ＭＭＰコミュニケーション

出版物紹介

http://www.jmmp.jp/mmpc/books.html
MMP コミュニケーションの書籍は、大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」でも紹介されている。

DVD 販売キャンペーン！

◆プロフェッショナル講師養成講座Ⅰ
（講師：大山充）
こちらをご購入いただいた方には、書籍「自発定年のち人生起業／大山充著」、「作ったけれど、売れない／金廣利三著」の２冊をプレゼント！

◆営業士キャリアアップセミナー
（講師：金廣利三）
「作っても売れない」～この事実から学ぶ営業の本質～
こちらをご購入いただいた方には、書籍「作ったけれど、売れない／金廣利三著」をプレゼント！

〔詳細〕
http://www.jmmp.jp/mmpc/dvdcampaign.html

MMP コミュニケーションは、Youtube のチャンネルも運営。
観光プランナー向けの「面白くて役に立つ」情報発信チャネル。
温泉、グルメ、旅、ショッピングなど生活文化、スポーツ、匠の技の工芸品から民芸品までさまざまなシーンをご紹介予定。

MMPコミュニケーションch

〔詳細〕https://www.youtube.com/channel/UC2mWd56h0yxNOs-jDFN9YkA

JMC プレミア組合員（個人組合員）募集中！

セールスレップ･販路コーディネータ協同組合は、販路コーディネータ・セールスレップ資格保有者に限らず、観光資格保有の方（観光士以上／観光特産士 2 級以上）も加入が可能な組合で、生涯学習できる場、交流できる場が広がる。
JMC プレミア組合員（個人組合員）になると、下記のセミナー・研修、講習会に無料で参加できる。

・MM 研究会：年 10 回程度、1 回あたり協会会員：3,300 円（税込）
・MMP リーダー研修：年 2 回開催、1 回あたり協会会員：3,300 円（税込）
・スキルアップ研修：1 回あたり協会会員：3,300 円（税込）
・認定講師更新料：ミドル認定講師年間更新料　年間 5,500 円（税込）

専門家との出会いの場があり、他業界との情報共有も可能である。

■JMC プレミア組合員（個人組合員）
法人格を持たない（青色申告事業者を除く）個人の方を対象とした制度です（ただし、個人組合員は、組合総会には出席できません）。申請書類等をご提出していただき、理事会の審査を経て登録となります。地域の制限はありません。

※入会金：20,000 円、年会費：12,000 円（一括支払い）

組合の年会費を払えば、協会主催の各種セミナー・講習会が無料になるため、多く参加すればするほどお得になるといったメリットもある。加入を検討する中級レベル以上の資格保有者が増えている。

〔詳細・お申込〕http://www.e-rep.jp/rep-kiyaku.html

ご 案 内 ホ ー ム ペ ー ジ	
観光プランナー・観光士・観光コーディネーター資格	→www.jtcc.jp
観光特産士会・観光文化協会	→www.jtmm.jp
販路コーディネータ・ＭＭＣＯ資格	→www.hanro.jp
営業士資格	→www.nrep.jp
商品プランナー・商品開発士・商品開発コーディネーター資格	→www.jmcp.jp
セールスレップ・販路コーディネータ協同組合	→www.e-rep.jp
セールスレップ資格	→www.jrep.jp
プロモーション資格	→www.jsp.or.jp
2023 年上期全国一斉試験	
2023 年 6 月 11 日（日）	
日本観光士会資格認定研修プログラム	
観光プランナー研修	2023 年 2 月 19 日（日）
観光士研修	2023 年 4 月 23 日（日）
観光コーディネーター研修	2023 年 2 月 4 日（土）
日本販路コーディネータ協会資格認定研修プログラム	
販路コーディネータ 3 級研修	2023 年 2 月 19 日（日）
販路コーディネータ 2 級研修	2023 年 4 月 23 日（日）
販路コーディネータ 1 級研修	2023 年 2 月 5 日（日）
日本商品開発士会資格認定研修プログラム	
商品プランナー研修	2023 年 2 月 18 日（土）
商品開発士研修	2023 年 4 月 22 日（土）
商品開発コーディネーター研修	2023 年 2 月 4 日（土）
日本セールスレップ協会認定研修プログラム	
セールスレップ 3 級研修	2023 年 2 月 19 日（日）
セールスレップ 2 級研修	2023 年 4 月 23 日（日）
セールスレップマイスター研修	2023 年 2 月 5 日（日）
日本販売促進協会資格認定研修プログラム	
プロモーションプランナー研修	2023 年 2 月 18 日（土）
プロモーションプロデューサー研修	2023 年 4 月 22 日（土）
プロモーションコーディネーター研修	2023 年 2 月 4 日（土）

※全国観光特産士会のホームページが移転しました。（新）www.jtmm.jp

観光エキスパート２０２３年２月号　　2023 年 1 月 15 日発行
発行（一社）日本観光文化協会　https://www.jtmm.jp/　http://www.jtcc.jp/
協力　セールスレップ・販路コーディネータ協同組合　（一社）日本販路コーディネータ協会
お問い合わせ先　https://jtmm.jp/contact/
http://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi
※掲載されているテキスト、画像等の無断転訳載を禁じます。